

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	2019年4月12日
【四半期会計期間】	第34期第2四半期（自 2018年12月1日 至 2019年2月28日）
【会社名】	黒谷株式会社
【英訳名】	Kurotani Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒谷 純久
【本店の所在の場所】	富山県射水市奈呉の江12番地の2
【電話番号】	0766(84)0001(代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 井上 亮一
【最寄りの連絡場所】	富山県射水市奈呉の江12番地の2
【電話番号】	0766(84)0001(代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 井上 亮一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第2四半期連結 累計期間	第34期 第2四半期連結 累計期間	第33期
会計期間	自2017年9月1日 至2018年2月28日	自2018年9月1日 至2019年2月28日	自2017年9月1日 至2018年8月31日
売上高 (千円)	28,031,973	25,834,734	56,791,367
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	953,259	261,957	676,355
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 ( ) (千円)	627,411	182,736	462,992
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	655,954	227,581	416,870
純資産額 (千円)	8,323,435	7,553,142	7,976,824
総資産額 (千円)	17,701,999	18,462,545	18,067,207
1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期純損失 ( ) (円)	43.76	12.81	32.29
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	47.0	40.9	44.2
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	492,665	410,819	603,322
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	106,404	107,126	195,085
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	70,359	378,226	868,952
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,935,184	1,406,571	1,549,375

回次	第33期 第2四半期連結 会計期間	第34期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2017年12月1日 至2018年2月28日	自2018年12月1日 至2019年2月28日
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失 ( ) (円)	14.30	9.00

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第33期第2四半期連結累計期間及び第33期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 当社は、2018年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第33期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期純損失( )を算出しております。

6. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を前期末より適用しており、前第2四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、前年度後半の米中貿易問題や米国の金利引上げ等により不透明感が強まり市況環境が大幅に悪化いたしました。今年度に入ってから米中間の貿易摩擦は激化、保護主義的な動きが強まったことにより当社グループの主力取扱商品価格に影響を及ぼす銅価格は軟調な動きで推移いたしました。

このような外部環境から、販売数量では、インゴットは前年同四半期比5.2%の減少となりましたが、スクラップが同5.9%の増加となったため、全体では同2.8%の上昇となりました。しかしながら、軟調な銅価格の動きから市場流通量の減少により国内スクラップの需給バランスが逼迫し、仕入価格の上昇に繋がったことや在庫評価損の影響もあり、利益面では厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高258億34百万円（前年同四半期比7.8%減）、営業損失2億47百万円（前年同四半期は営業利益9億69百万円）、経常損失2億61百万円（前年同四半期は経常利益9億53百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億82百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益6億27百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### （非鉄金属事業）

非鉄金属事業の主力取扱商品である銅の価格が軟調に推移したことから、スクラップを中心に販売数量は増加したものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は256億7百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。

#### （美術工芸事業）

美術工芸事業は、キャラクター製品を中心に需要が底堅く推移したことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億27百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

財政状態につきましては、次のとおりであります。

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は153億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億20百万円増加いたしました。これは主にたな卸資産が22億50百万円増加し、売上債権が10億45百万円、前渡金が6億53百万円減少したためであります。

固定資産は31億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億74百万円の増加となっております。

この結果、総資産は、184億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億95百万円増加いたしました。

#### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は86億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億20百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が6億98百万円、仕入債務が76百万円増加したためであります。また、固定負債は22億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1百万円減少しております。

この結果、総負債は、109億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億19百万円増加いたしました。

#### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は75億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億23百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失1億82百万円の計上、自己株式の増加88百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は40.9%となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、14億6百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果使用した資金は4億10百万円となりました。これは主に売上債権の減少による収入10億42百万円、前渡金の減少による収入6億53百万円、税金等調整前四半期純損失2億61百万円、たな卸資産の増加による支出22億50百万円などによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は1億7百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は3億78百万円となりました。これは主に短期借入金の純増7億円、長期借入金の借入5億円による収入と長期借入金の返済6億19百万円、配当金の支払い1億7百万円、自己株式取得による支出94百万円などによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年2月28日)	提出日現在発行数(株) (2019年4月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,337,200	14,337,200	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	14,337,200	14,337,200	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
2018年12月1日～ 2019年2月28日	-	14,337,200	-	1,000,000	-	293,024

(5) 【大株主の状況】

2019年2月28日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合(%)
株式会社黒谷商店	富山県射水市作道2140-3	5,696,000	40.26
黒谷 純久	東京都世田谷区	2,997,400	21.18
株式会社S M C	兵庫県神戸市兵庫区駅前通2丁目 1-2	400,000	2.83
黒谷 暁	東京都世田谷区	200,000	1.41
黒谷 昌輝	東京都世田谷区	200,000	1.41
黒谷株式会社従業員持株会	富山県射水市奈呉の江12-2	145,000	1.02
株式会社北陸銀行	富山県富山市堤町通り1丁目2- 26	140,000	0.99
株式会社北國銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株 式会社)	石川県金沢市広岡2丁目12番6 号 (東京都中央区晴海1丁目8-1 2)	140,000	0.99
黒谷春美	東京都世田谷区	120,000	0.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信 託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3 号	87,000	0.61
計	-	10,125,400	71.56



( 6 ) 【議決権の状況】  
 【発行済株式】

2019年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 187,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,147,400	141,474	-
単元未満株式	普通株式 2,100	-	-
発行済株式総数	14,337,200	-	-
総株主の議決権	-	141,474	-

【自己株式等】

2019年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
黒谷株式会社	富山県射水市奈呉の江12番地の2	187,700	-	187,700	1.31
計	-	187,700	-	187,700	1.31

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2018年12月1日から2019年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（2018年9月1日から2019年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,206,289	2,063,523
受取手形及び売掛金	5,839,682	4,948,219
電子記録債権	1,103,361	948,937
商品及び製品	674,744	459,903
仕掛品	101,545	135,477
原材料及び貯蔵品	2,881,462	5,312,635
前渡金	1,421,861	767,892
その他	882,707	695,471
流動資産合計	15,111,654	15,332,061
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,521,121	1,521,121
その他(純額)	712,507	841,804
有形固定資産合計	2,233,629	2,362,926
無形固定資産	11,281	10,169
投資その他の資産	710,641	757,388
固定資産合計	2,955,552	3,130,484
資産合計	18,067,207	18,462,545
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,646,773	1,492,450
電子記録債務	-	230,481
短期借入金	4,649,540	5,347,830
1年内返済予定の長期借入金	1,040,478	1,018,688
未払法人税等	-	8,493
引当金	20,079	18,062
その他	360,863	521,754
流動負債合計	7,717,734	8,637,759
固定負債		
長期借入金	2,278,878	2,181,380
退職給付に係る負債	93,770	90,263
固定負債合計	2,372,648	2,271,643
負債合計	10,090,382	10,909,403
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	685,855	685,821
利益剰余金	6,125,027	5,834,763
自己株式	75	88,616
株主資本合計	7,810,806	7,431,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,530	48,410
為替換算調整勘定	67,487	72,763
その他の包括利益累計額合計	166,018	121,173
純資産合計	7,976,824	7,553,142
負債純資産合計	18,067,207	18,462,545

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
売上高	28,031,973	25,834,734
売上原価	26,454,791	25,454,115
売上総利益	1,577,181	380,618
販売費及び一般管理費	607,657	628,195
営業利益又は営業損失( )	969,524	247,577
営業外収益		
受取利息	506	1,088
受取配当金	1,786	1,818
持分法による投資利益	10,466	5,058
為替差益	6,786	-
デリバティブ運用益	-	1,169
受取保険金	1,722	29,020
助成金収入	432	1,804
保険事務手数料	973	1,110
違約金収入	4,557	-
その他	659	1,362
営業外収益合計	27,890	42,431
営業外費用		
支払利息	38,424	41,584
為替差損	-	6,778
デリバティブ運用損	195	-
その他	5,535	8,448
営業外費用合計	44,155	56,811
経常利益又は経常損失( )	953,259	261,957
特別利益		
投資有価証券売却益	2,940	-
特別利益合計	2,940	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	956,199	261,957
法人税、住民税及び事業税	313,692	3,653
法人税等調整額	15,095	82,874
法人税等合計	328,787	79,221
四半期純利益又は四半期純損失( )	627,411	182,736
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失( )	627,411	182,736

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	627,411	182,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,020	50,120
為替換算調整勘定	2,070	827
持分法適用会社に対する持分相当額	8,451	4,447
その他の包括利益合計	28,542	44,844
四半期包括利益	655,954	227,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	655,954	227,581
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	956,199	261,957
減価償却費	84,931	80,451
受取利息及び受取配当金	2,292	2,906
支払利息	38,424	41,584
為替差損益( は益)	14	4,430
投資有価証券売却損益( は益)	2,940	-
持分法による投資損益( は益)	10,466	5,058
売上債権の増減額( は増加)	982,891	1,042,766
たな卸資産の増減額( は増加)	1,279,886	2,250,262
仕入債務の増減額( は減少)	26,918	77,031
前渡金の増減額( は増加)	545,084	653,968
その他	284,203	157,847
小計	1,073,036	462,104
利息及び配当金の受取額	1,880	2,594
利息の支払額	38,894	42,234
法人税等の支払額	543,357	2,520
法人税等の還付額	-	93,445
営業活動によるキャッシュ・フロー	492,665	410,819
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	502,587	514,641
定期預金の払戻による収入	502,550	514,608
関係会社貸付けによる支出	17,450	-
有形固定資産の取得による支出	93,185	100,436
無形固定資産の取得による支出	500	1,330
投資有価証券の取得による支出	3,713	3,698
投資有価証券の売却による収入	8,610	-
その他	128	1,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	106,404	107,126
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	261,425	700,000
長期借入れによる収入	500,000	500,000
長期借入金の返済による支出	619,290	619,288
自己株式の取得による支出	-	94,911
配当金の支払額	71,775	107,573
財務活動によるキャッシュ・フロー	70,359	378,226
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,885	3,084
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	443,733	142,803
現金及び現金同等物の期首残高	1,491,450	1,549,375
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,935,184	1,406,571

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の金額

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
投資その他の資産	38,850千円	38,850千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
販売諸掛	215,900千円	244,103千円
従業員給与及び賞与	92,492	89,489
賞与引当金繰入額	14,658	5,646
退職給付費用	2,218	1,007

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
現金及び預金勘定	2,592,076千円	2,063,523千円
預入期間が3か月を超える定期預金	656,891	656,952
現金及び現金同等物	1,935,184	1,406,571

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年11月21日 定時株主総会	普通株式	71,684	10	2017年8月31日	2017年11月22日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年4月13日 取締役会	普通株式	107,526	15	2018年2月28日	2018年5月1日	利益剰余金

(注) 2018年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月27日 定時株主総会	普通株式	107,526	7.5	2018年8月31日	2018年11月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月12日 取締役会	普通株式	106,120	7.5	2019年2月28日	2019年5月7日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2017年9月1日至2018年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計(注)
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,811,181	220,792	28,031,973	-	28,031,973
セグメント間の内部売上高又は振替高	708	2	710	710	-
計	27,811,889	220,794	28,032,684	710	28,031,973
セグメント利益	938,989	30,534	969,524	-	969,524

(注)セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2018年9月1日至2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計(注)
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,607,132	227,601	25,834,734	-	25,834,734
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	2,283	2,283	2,283	-
計	25,607,132	229,885	25,837,017	2,283	25,834,734
セグメント利益又は損失( )	268,718	21,141	247,577	-	247,577

(注)セグメント利益又は損失( )の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失( )	43円76銭	12円81銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	627,411	182,736
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	627,411	182,736
普通株式の期中平均株式数(株)	14,336,912	14,269,195

- (注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 当社は2018年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失( )を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

第34期（2018年9月1日から2019年8月31日まで）中間配当について

2019年4月12日開催の取締役会において、2019年2月28日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	106,120千円
1株当たりの金額	7.5円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年5月7日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年4月12日

黒谷株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 下条 修司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 陸田 雅彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている黒谷株式会社の2018年9月1日から2019年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2018年12月1日から2019年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（2018年9月1日から2019年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、黒谷株式会社及び連結子会社の2019年2月28日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。